



消費電力や水質についての実験もありました



熊本県環境センターで環境学習の取り組みを聞く委員たち

# 美しい地球環境を未来に！

## 町教育委員会研修報告

### 自然との共生や調和を 学び・考える施設

#### 「熊本県環境センター」

第1日目、水俣市の「熊本県環境センター」を訪ねる。  
広大な敷地の中には、水俣病学習の拠点となっている、水俣市立水俣病資料館と国立水俣病情報センターが併設されている。

この環境センターは、地球に起こっているさまざまな環境問題を始め、自然との共生や調和のあり方などについて、水俣病の教訓を生かしながら、学び・考えるための場として平成5年に開館した施設である。映像・クイズおよび体験型ゲームなどを通して、楽しくわかりやすく学ぶことができる場になっている。

特に環境学習においては、10年目を迎えた「こどもエコセミナー」事業による県内全小学校5年生の研修が毎日のように組まれていて充実した時間になっているとお話があった。

学習内容としては、水・省エネ・ゴミ・リサイクル・環境ラベル等多岐にわたっているとのことであった。

私たち10人のために、消費電力や水質についての実験もあり楽しい学習ができた。説明された橋口指導員は冒頭、水銀に汚染された魚の処分と水俣湾埋め立て工事について触れられ、今は「エコパーク水俣」として、環境と健康をテーマにした緑豊かな公園に整備されていて「日本一安全な魚がとれる」ところとなっていることを力説され感銘を受けた。

お話を聞きながら、私自身「識別マーク」「エコマーク」「グリーンマーク」などに関心があったことを大いに恥じた時間になった。

### 施設・活動ともに 「エコ」に取り組む 水俣第一中学校

2日目(2月8日)は、朝から「水俣市立水俣第一中学校」

を視察する。

この学校は九州で2校目の「エコ改修」のモデル校で、3〜4日後に落成式をひかえた中での訪問で恐縮したが、学校や教育委員会担当者の熱心な説明に頭が下がった。

改修の要点は「明るく環境にやさしい校舎」の一言に尽きるが、具体的にいくつか挙げてみると

- ①断熱性能の向上(屋上・外壁・床下)と結露防止(複層ガラス)
- ②遮熱・通風促進(グリーンカーテンを作る「ルーバー」)

の設置)

- ③照明器具、冷暖房設備、便器ファンなどの節電、節水
- ④太陽光・太陽熱の利用(クラスルーム、校長室など)
- ⑤室内壁面の地域産材の活用(県産杉板) その他

水俣一中生徒たちの環境浄化に対する取り組みも積極的である。生徒会の年間目標を「一人一人が環境に対する向上心を持ち、節電・節水・ゴミ分別に努める」と定め、具体的行動項目の実践の徹底を図っているのに感心した。

廊下で会った生徒たちは明るく大きな声で挨拶をして通り過ぎていった。やさしい環境は人の心にやさしさを高めていくのだと実感するとともに「エコ」は「エゴ」を除くことから深まってくのだということをお話された。

帰りには益城と縁のある「蘇峰記念館」に立ち寄り、日奈久の「津森小学校遭難の碑」に手を合わせて帰路についた。

文責 坂田



グリーンカーテン用ルーバーを設置した校舎